

12/28  
福井

# 食品値上げ年明け続々

## コスト増企業努力限界に

パンや菓子、総菜など食品の値上げが来年1月以降、相次ぐ。原材料費が上昇し、企業の価格抑制努力は限界に達している。新型コロナウイルス禍の小売状態の中で拡大しつつある景気にとって、試練の新章となる。長らく続いてきた低価格志向の転換点となる可能性もある一方、賃金が伸び悩んでいるため、冷え込んだ消費の回復に水を差す恐れがある。

【4面に表層深層】

原油価格の上昇や為替相場の不安を背景に、輸入品を中心とした企業間の取引価格＝☆NEWSの言葉

ナ禍からの経済再開が、糖

要の伸びを通して価格を引き上げた要因も指摘される。

山崎製パンは1月から

食パン	1月1日～
菓子パン	2月1日～
ハムやソーセージ	2月16日～
しょうゆ、豆乳	1月以降順次
スナック菓子	3月1日～
マヨネーズなど	2月1日～
菜種使ったサラダ油	1月1日～
文庫	

食パン、菓子パン247品 (平均7.3%)  
 ハムやソーセージ (5~12%)  
 しょうゆ、豆乳 (約4~10%)  
 スナック菓子 (値上げと内容量減)  
 マヨネーズなど (今年7月にも実施)  
 菜種使ったサラダ油 (今年4回実施)  
 文庫 (平均約8%)

1月1日～	出荷分～
2月1日～	
2月16日～	納品分～
1月以降	順次
3月1日～	出荷分～
2月1日～	納品分～
1月1日～	

年明け以降の主な値上げ商品と企業

パンの出荷価格を平均7.3%引き上げる。計約700品のうち247品が対象だ。中国で家畜飼料の需要が高まったことなどを背景に小麦粉の価格が高騰。ガソリン高で輸送費も負担となり、同社は「企業努力の限界を超え大変厳しい状況だ」と説明した。

日本ハムはハムやソーセージ、キッコーマンはしょうゆを2月に値上げする。カルビーは1月から順次、一部スナック菓子の価格を据え置き代わりに内容量を減らす。

食用油の原料の大豆はバイオ燃料の需要増、菜種は

主要産地カナダの干ばつで高騰した。今年7月にマヨネーズを値上げたキッコーマンは、来年3月に再実施。サラダ油を既に4回値上げしたオーイルミルズは2月、菜種を使った商品で5回目の価格改定を行う。担当者は「原材料高が進んでもこれ以上は価格転嫁しに

く、業績に影響しかねない」と語った。

外食では北米産牛肉の価格上昇で、牛丼チェーンの吉野家とすき家、松屋が値上げ(一部は地域限定)した。ミスタードーナツは3月、金店で33品を1個10円程度値上げする。

日本総合研究所の小方尚

子主任研究員は、コロナ禍で落ち込んだ経済が世界的に急回復し、縮小していた供給が需要の伸びに追いつけなくなったと指摘する。「飲食店の非正規雇用者など、コロナ禍の影響を強く受けた人ほど値上げの打撃は大きい」と懸念を示した。